

後期高齢者医療保険料特別徴収仮徴収イメージ

後期高齢者医療保険料が年金から天引き（特別徴収）されている場合、４・６・８月の保険料は原則として、２月の年金から天引きされた保険料と同額となります。下表の例をご参照ください。

（例）

	４月	６月	８月	１０月	１２月	２月
前年度	…	…	…	10,000 円	10,000 円	10,000 円
現年度	10,000 円	10,000 円	10,000 円	8,000 円	8,000 円	8,000 円
翌年度	8,000 円	8,000 円	8,000 円	…	…	…

①前年度２月の保険料が 10,000 円であった場合、現年度の４・６・８月の保険料は２月と同額の 10,000 円を仮に算定した保険料として納付します（仮徴収）。

②７月に現年度保険料の本算定後、年間保険料額から仮徴収済み保険料を差し引いた額を１０・１２・２月の３回に分けて納付します（上表の例では 8,000 円となります、本徴収）。

③現年度２月の天引き額が 8,000 円となったので、翌年度４・６・８月の天引き額は２月と同額の 8,000 円となります。

特別徴収による納付が継続される場合、例のような納付状況の継続となります。